

## 令和7年度 第4回 積志中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月16日（月）15時15分から17時00分まで
- 2 開催場所 積志中学校 会議室
- 3 出席委員 岩井 正次、上野 由紀夫(学校支援コーディネーター)、北 一樹、岡本 知之、市川 和廣、内山 多紀子、高林 祐子、鈴木 達志
- 4 欠席委員 林 和法
- 5 オブザーバー 三輪 清(前学校運営協議委員)
- 6 学 校 影山 ちか(校長)、山村 隆信(教頭)、松井 麻貴(主幹教諭・CS担当)、鈴木 佳奈子(CSディレクター)
- 7 傍聴者 1人
- 8 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 佳奈子

### 9 議長の選出

司会から、議長の選出について委員の意見を求めたところ、岩井委員から北委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

### 10 協議事項

- (1) 今年度の活動報告
- (2) 地域防災の様子の確認
- (3) 休日の部活動地域展開について
- (4) 学校関係者評価の実施
- (5) 来年度の学校運営の基本方針について
- (6) 来年度の学校運営協議会の目標について
- (7) 今年度の学校運営協議会の自己評価について

### 11 会議記録

司会の松井から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### (1) 今年度の活動報告

上野委員(学校支援コーディネーター)より今年度の目標をふまえた活動の報告が紙面で提示され、それに対して委員からは以下の発言があった。

### 地域人材の導入について

- ・他の学校でボランティアの人が考えている内容と教員が必要としている内容に相違があったことがある。それはすり合わせてほしいと思ったが積志中ではどう対応しているのか。(市川委員)
- 中学校として内容(どんなサポートをお願いするのか)をボランティアに参加される方と認識を一致させておくことが重要だと思うので、事前打ち合わせを必ず行うようにしていく。(校長)
- ・募集する時点で詳細を提示しておくのがいいのでは。(北委員)

### 制服・ジャージ・法被の寄贈について

- ・近所のつながりや、兄弟等で地域と繋がっている家庭はもらう機会があると思うが、転入者など知り合いのいない人は機会がないので、いろいろなご家庭に周知できるように学校運営協議会から案内をしていきたいと思う。(北委員)

### 夏休み学習室について

- ・日数を少なくしたのは良かったと思う。(岡本委員)
- ・来年度も同じような体制でできればと思う。(北委員)

## (2) 地域防災の様子の確認

上野委員(学校支援コーディネーター)より地域防災の様子について紙面での提示があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・中高校生の集まりがよくない。意識として助けられる側ではなく、助ける側になってほしい。(市川委員)
- 学校としても参加できる体制(部活動を休みにする)などの対応はしているが、市の地域防災の日より前に行う自治会があった為、参加できない生徒がいたと思う。今後は9月に行っていた自治会参加の防災学習を11月に変更していく。(校長)
- ・地域によっても格差は出ていると思う。(岩井委員、北委員)
- ・公立高校では紙を配って、参加すると押印してもらうシステムになっているので、参加率が上がっているのかもしれない。(北委員)
- 以前中学でも参加のカードがあったが、管理の点からなくなってしまった。もしその参加カードがあることが子供たちの参加する理由になるなら、もう一度やってみてもいいのかもしれない。(校長)
- ・訓練の実態がないのではいけない。何かあった時に地域でまとまって何ができるか知ってもらうためにも参加率をまず上げて、中学生は働き手であることもふまえた教育を学校と連携して周知していきたい。(北委員)

## (3) 休日の部活動地域展開について

上野委員(学校支援コーディネーター)より休日の部活動地域展開について紙面での提示に加え、校長より現状についての説明があった。それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・部活は平日だけで良いと考えている生徒が思ったよりも多い印象である。(岩井委員)
- 学校以外のチームに所属している生徒は学校の部活動は平日でいいと考えている可能性もある。(校長)
- ・指導者の確保、教員の異動により指導者がいなくなるのも問題ではある。(岩井委員、校長)
- ・金銭的な対応はどうなっているのか。ボランティアだけでは続かないのでは。(市川委員)

- 「はまくる」は基本的に受益者負担で活動していくので、各団体に集めて報酬として渡す方針となっている。(校長)
- ・なかなかすまない部活、やりたくてもやれない部活が出てくる等、学校単位で任されている課題が多いと思う。(岩井委員、北委員)
  - ・ボランティアの力だけでは難しいので、課題を共有して学校と連携をとりたい。(岩井委員、北委員)

#### (4) 学校関係者評価の実施

議長の指示により、松井教諭から今年度の学校評価アンケートの結果、分析結果、改善方策等について説明があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・ボランティアは同じ生徒が参加することが多く、全体の数には反映されにくい場合もある。(岡本委員)
  - ・お祭りに参加することを、地域の活動だと認識していないのでは。(岡本委員)
  - ・参加している子供たちには、片付けや準備などを手伝うように声掛けをしていけばいいと思う。(岩井委員)
  - ・SNSのルール作りについてしっかり考えるべき。高校生の問題行動はSNSでの動画拡散と闇バイト投稿がとても多い。中学生も今のうちから教育をしていった方が良くと思う。(岡本委員)
  - ・ルールを決めるのは家庭であり、学校の介入には限界がある。スマートフォンを買い与えるのは親なので、親がある程度管理して、アンテナを高くして啓蒙していかないといけない。(岡本委員)
- 学年ごとに情報モラルの講習会を行っているが、なかなか問題がなくなるのが現状である。(校長)
- ・親も親でちゃんとしなければいけない。親のほう知らない事もあるので、親も一緒に講習会を受けるのもいいのでは。(鈴木委員、高林委員、北委員、岩井委員)
  - ・携帯の機能を使って使用時間の制限、内容の確認をする、家庭内で使用場所の限定をするなど、持たせる時にしっかりルールを作るべきだと思う。(北委員、高林委員、鈴木委員)
  - ・どんなルールをつくると効果的なのか、成功体験の共有をしてもいいと思う。(岡本委員)
  - ・全体的にはいい成果が出ているので良い。(岡本委員)

#### (5) 来年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長から来年度の学校運営の基本方針について説明があり、それに対して委員からは以下の発言があった。

- ・学校家庭地域のつながりがランドデザインにも含まれているが、他地区では、PTAや子供会の解散が実際に起きており、危機感、問題意識を持って取り組んでいきたい。(岩井委員)
- ・地域全体、そして子供の一番近くにいる親が子どもをみていかなければいけないと考えるが、PTAに対する保護者の抵抗感はなかなかぬぐえないものがある。(鈴木委員)
- ・学校が提示する目標や目的に対して、何をすればいいのか何をすれば支えられるのか保護者が理解しなければいけない。(岡本委員)
- ・学校として何を求めるのか、何をしていくのか具体的に次年度議論したい。(北委員)

協議の結果、全員異議なく、これを承認した。

#### (6) 来年度の学校運営協議会の目標について

岩井委員より、来年度の学校運営協議会の目標について説明があり、今年度の目標を提示した。

来年度の目標：「地域と学校、地域と中学生・保護者とのつながりを深める」  
協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(7) 今年度の学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、CS担当から学校運営協議会自己評価について説明があり、各委員から提出された自己評価表をまとめる形で、積志中学校運営協議会の総意とすることを確認した。